

仕事はたのしかった

久しぶりに 本当に久しぶりに 使(な)は(な)つ

いての 仕事が入った

二回コースで 全国約的展回だ

一度目本皮ふの表皮の階 二度目本X17に

しより

用意するものは どろろにするか

準備するもの 頭の甲で絵をかきよるに

えかいて いった

これぞいこうと マシた暗目がさゆた

本気で やる気になつていた

しばらくくぼんやり カレと夕一を見る

目ははつきりしやい

それでも ちんちんと見えの 気がする

よかおと かの

気温を見る これは 習慣だ

二十五度 湿度六十%

そういえば 今日 妙つくろふと 天気予報 兼(あ)か

熱中症に 気を付ける ように 言つて いた

今日 け夏 95 3 春 朝 花 9 だ

仕事の夢ははじめてだ

夢はいろいろあるが仕事ははじめてだ

多分心のすわで仕事をしたいと思っ

のかもしれぬ

若いころ仕事しかなく日々た

るえると年間三回向と人ド存ス

だつた

飛

鏡

山の行積の甲と熟年の甲 食事は

うすくい牛は地方の辨当 として見知

エ地の人達とふたぎやをもらたり ぶつ

ものさとうぞといたどいたりた

現在 栄養がどうのころと金り

と言つていそおねる所も金で物も

ない月々はたのしかうた

もつとどんく 仕事をしたいと思っ

仕事が出来るとは本當にたのし

いことだ

2022
6/18